

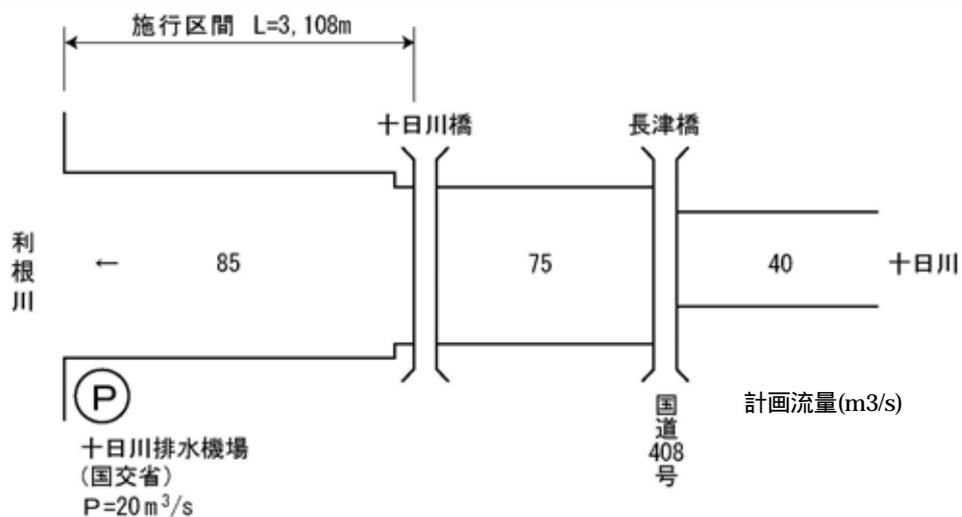
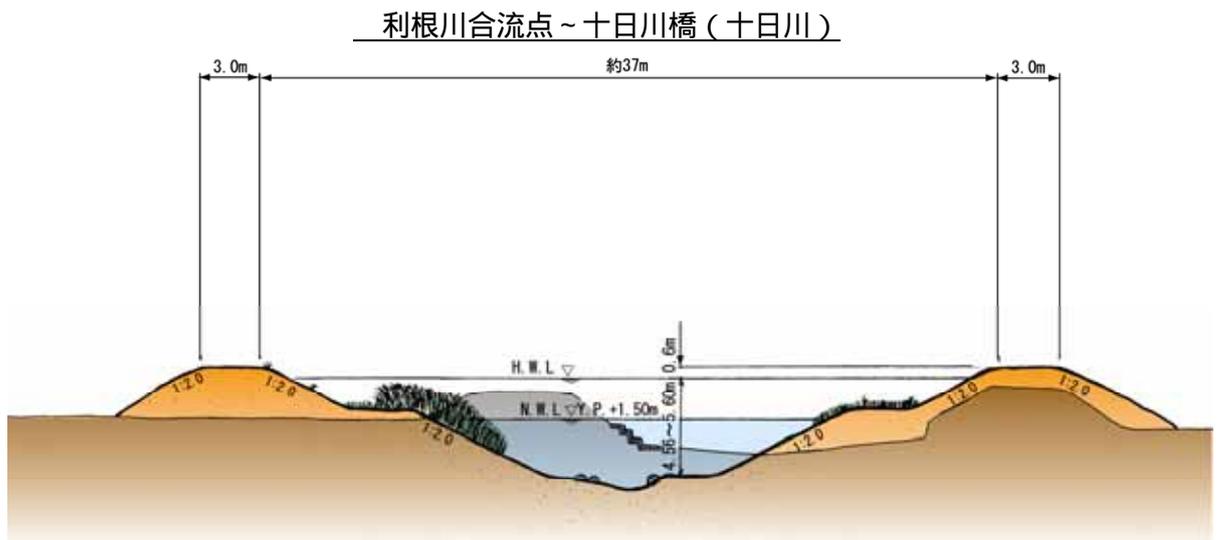
(11)十日川

改修断面は、法勾配 1:2 の土羽河岸を基本とし、護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息・生育環境に配慮し自然素材による自然な水際の回復に努めます。

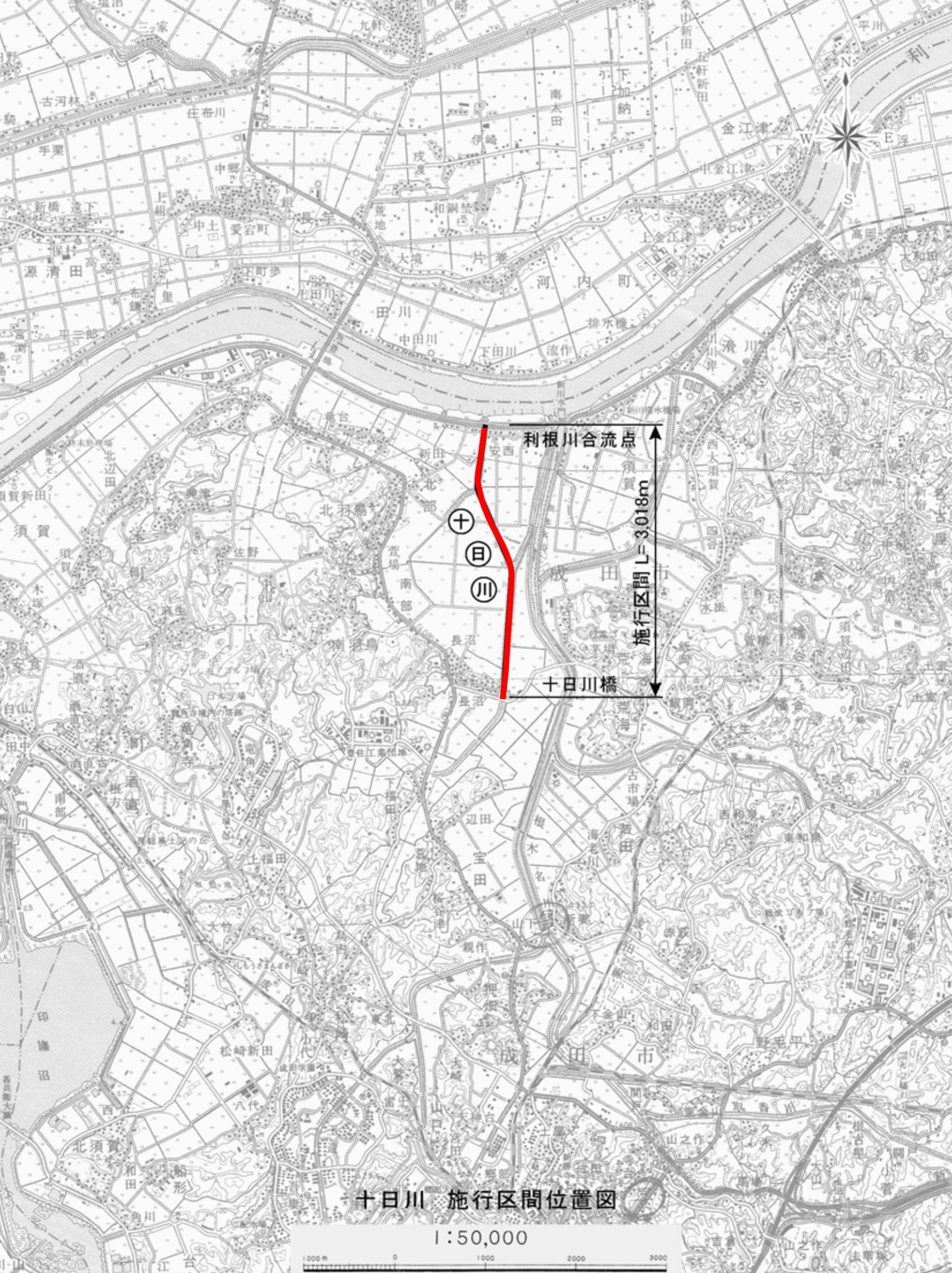
十日川は、利根川からの背水のため、常に深い水深が保たれることから、安全面への配慮が必要です。よって、人が容易に水際に近づけないように水際にヨシ原を設け、生態系にも配慮します。ただし、休日ともなれば釣り人が訪れ、地域住民の憩いの場もなっていることから、全体でヨシ原を造成するのではなく、親水にも十分に配慮した改修を行うものとします。

十日川

- ・ 施行区間 利根川合流点～十日川橋
- ・ 延 長 L=3,108m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅



流 量 配 分 図



(12)根木名川・荒海川・小橋川・取香川

改修断面は、法勾配 1:3 の土羽河岸を基本とし、護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息・生育環境に配慮し自然素材による自然な水際の回復に努めます。

根木名川下流や荒海川は、開放的な水田地帯を流下し、堤防上からの景観に優れていることから、堤防天端の整備に配慮するものとします。また、低水路にはヨシ州が多く見られ、動植物にとって良好な環境が残されていることから、これらの保全・維持に努めます。

根木名川中流や小橋川、取香川は、成田市の市街地を流れ「桜つつみモデル事業」等の親水事業がこれまでも実施されており、これらの既往事業との連携を図り、親水機能を充実させた改修を行います。

根木名川の国道 51 号並行区間より上流は河道の拡幅が困難なことから、やむを得ず法勾配 1:0.5 の護岸構造としますが、自然環境の保全と親水性の確保に十分配慮した改修とします。

根木名川

- ・ 施行区間 利根川合流点～ほたる橋
- ・ 延 長 L=15,010m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，護岸工，副水路工

荒海川

- ・ 施行区間 根木名川合流点～東和泉橋
- ・ 延 長 L=3,500m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，副水路工

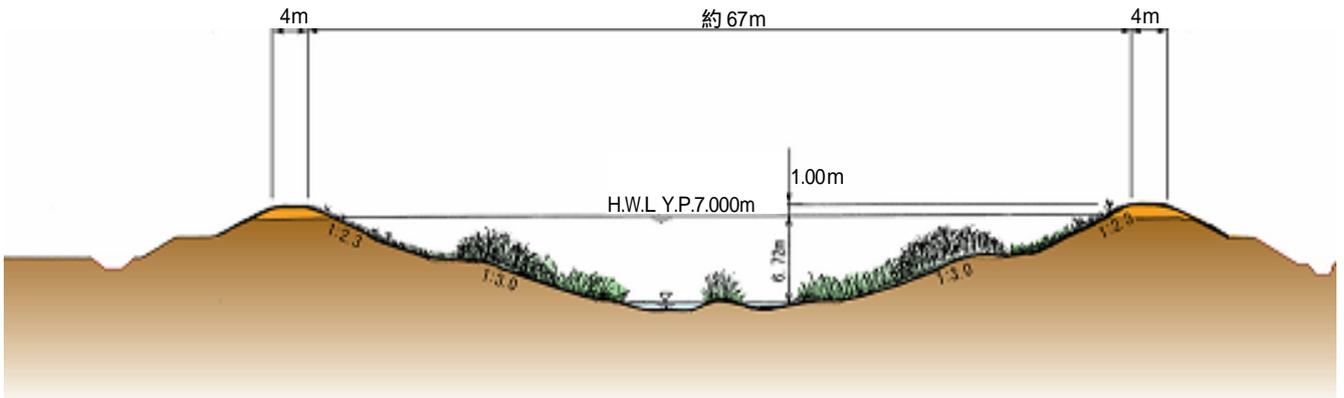
小橋川

- ・ 施行区間 根木名川合流点～松崎橋
- ・ 延 長 L=1,670m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，副水路工

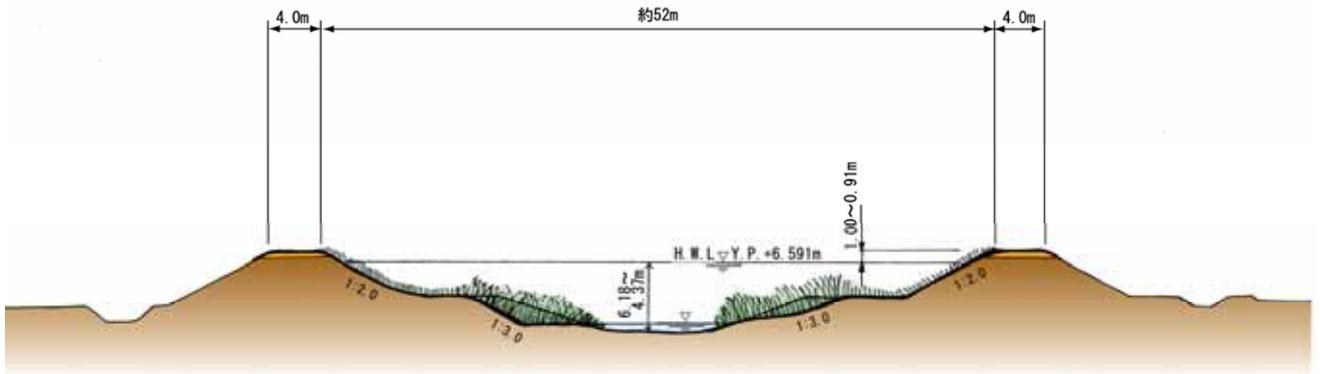
取香川

- ・ 施行区間 根木名川合流点～掘之内橋
- ・ 延 長 L=3,880m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，副水路工

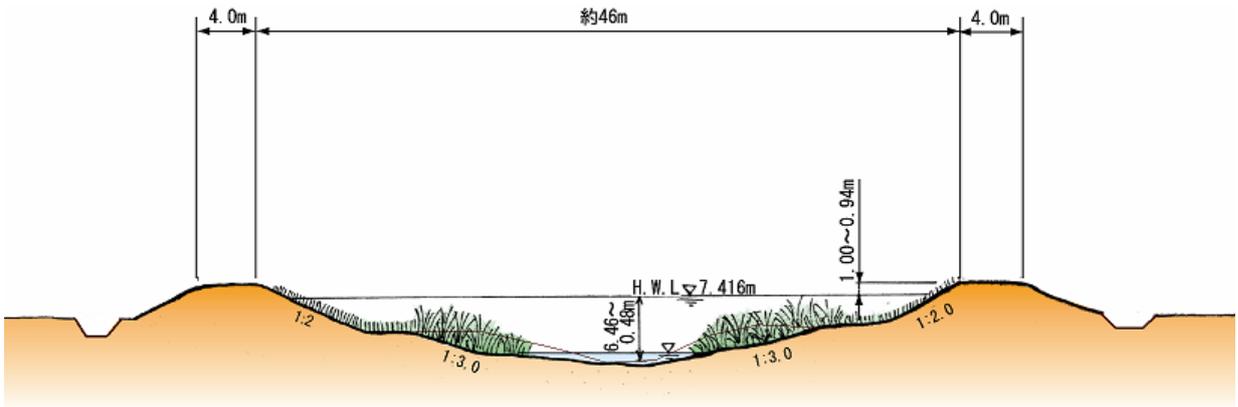
小橋川合流点 ~ 取香川合流点 (根木名川)



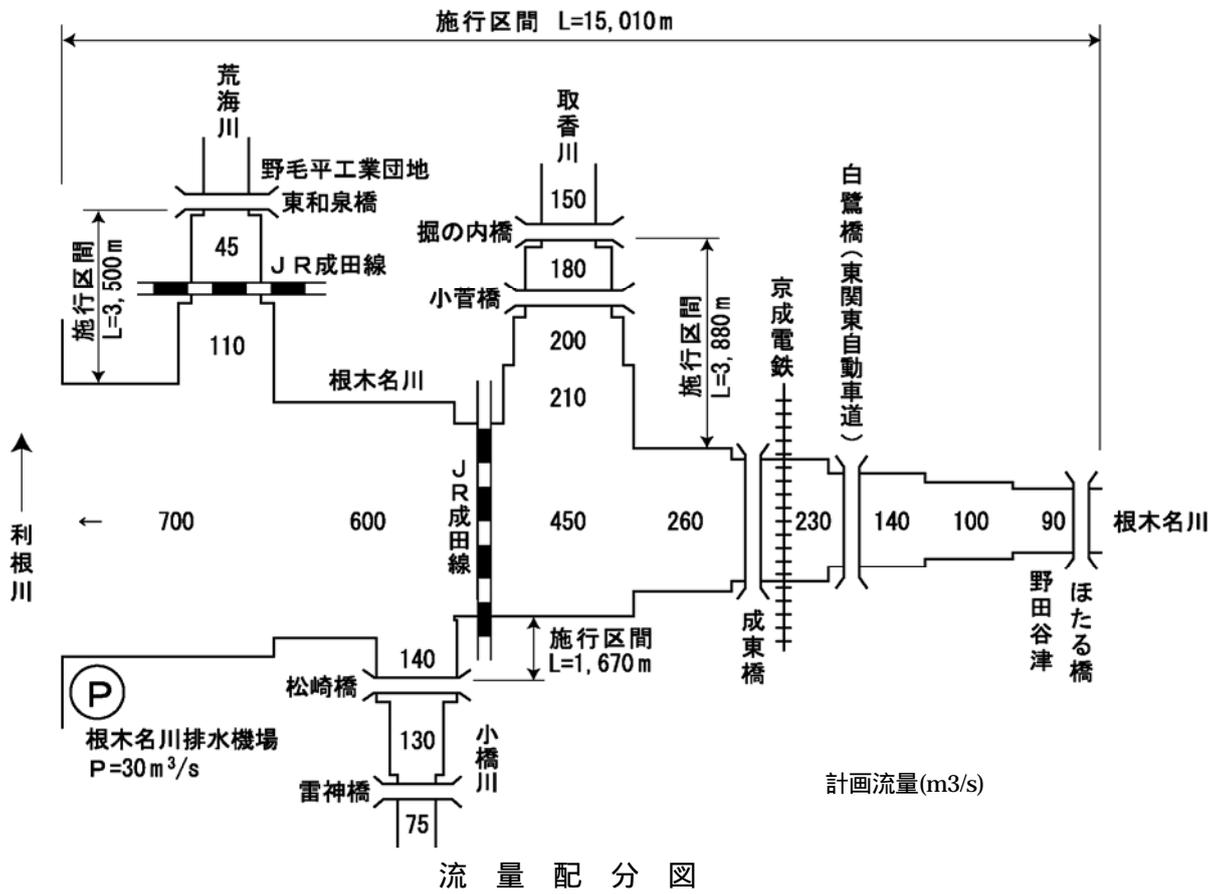
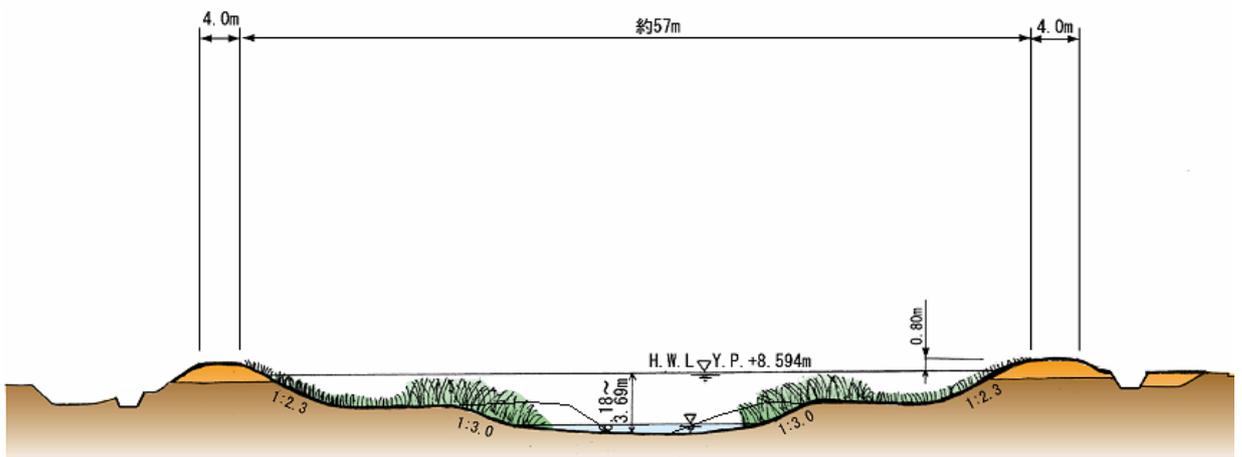
根木名川合流点 ~ JR 成田線 (荒海川)



根木名川合流点 ~ 松崎橋 (小橋川)



根木名川合流点～No.34(取香川)



(13)派川根木名川・尾羽根川

改修断面は、法勾配 1:2 の土羽河岸を基本とし、基本的には築堤工事を実施するため、現在の動植物の生息・生育環境は保存できます。

なお、派川根木名川や尾羽根川に平行して流れる副水路についても、堤防断面を確保するための木柵等により補強工事もあわせて行います。

派川根木名川・尾羽根川

施行区間 利根川合流点～根木名川合流点，派川根木名川合流点～水掛橋下流

延長 L=2,560m（派川根木名川），L=1,200m（尾羽根川）

整備内容 築堤工，掘削工，副水路工

